**埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会設立趣意書**

　圏央道の開通により企業の立地ポテンシャルアップや物流拠点の大規模化・集約化・多機能化が進んでいます。一方、京浜港（東京港・川崎港・横浜港）のコンテナ取扱量は年々増加し、コンテナ積卸し長時間ロスなどにより物流効率が悪化しており、特にトラック物流業の労働環境が益々悪くなっています。その結果、トラック運転手の不足、若手雇用の減少により、県内企業の海上コンテナ物流についてもコストの増加や輸送時間のロス等の課題が顕在化しています。

　このような状況から、荷主、陸運事業者、船会社などが連携し、空コンテナ輸送を減らすためのコンテナラウンドユース（コンテナ往復利用）により課題を解決するための仕組みづくりが重要です。

　そこで、荷主、陸運事業者、船会社などと埼玉県から成るコンテナラウンドユース推進協議会を設立し、課題を解決するための仕組みを共に考え、当協議会の構成員相互によるコンテナラウンドユースの取り組みを推進していくものです。

　本協議会の設立により、県民の生活、産業活動を支える、物を安定的に運び供給するしくみ（物流の効率化）の実現を目指します。また、企業の立地、既存企業の定着率向上や物流産業の雇用確保、更に女性ドライバーの雇用促進などの経済波及効果を高めていきます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２６年１０月２１日